

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2023-11-01 No. 158

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) - 伝導妨害イミュニティ(1/3)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: (GRSG)・国連規制 No. 161 (不正使用に対するデバイス) に対する補足 4 の提案	10
国際テーマ: 携帯電話、タブレットなどの新しい欧州規制	11
国際テーマ: 中国の認証要求: 無線通信製品の新規制、CCC 認証が必要な製品の目録の改訂	11
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	12
USA: FCC: KDB: Part 15 または Part 18 に基づくワイヤレス電力伝送デバイスの機器認可	13
USA: FCC: KDB: TCB が機器認可の付与を出す前に FCC のガイダンスが必要なデバイスは?	13
USA: FCC: KDB: 携帯電話機の補聴器両立性に関する機器認可要求事項は?	14
USA: FCC: ワイヤレス補聴器両立性の音量調整試験基準の一部を条件付きで免除	16
USA: FCC: 6 GHz 帯での超低出力デバイスの運用を許可	16
USA: CPSC: 電動キックボードや電動バイクによる負傷が急増: 2022 年約 21%増加	17
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	19
USA: IEEE: 新規格リスト	21
カナダ: ISED: RSS-252 - 5895~5925MHz 帯高度道路交通システム(ITS)の車載ユニット	22
EU: 欧州委員会、安全でない玩具からの子供の保護を強化: 有害化学物質からの保護	24
EU: 重要な「Fit for 55」法案を完成、EU を 2030 年の目標を超える軌道に乗せる	25
UK: UKCA マーケティング関連のガイダンスが更新: CE マーケティング商品を 2024 年以降も承認	25
UK: 機械の指定規格の変更案が発行	26
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	29
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	30
ニュージーランド: 特定品目の供給に関する規則のクイックガイド	30
中国: CNCA: 《新エネルギー自動車用動力電池のカスケード利用製品認証実施規則》の公布	31
中国: CNCA: 《電動自転車の強制性製品認証実施規則の公布に関する国家認監委公告》	32
中国: SRRC: 無線送信機器の型式承認: 無線 LAN 装置の IPv6 プロトコル対応能力試験	33
中国: SRRC: 無線送信機器の型式承認: 無線 LAN 装置の IPv6 プロトコル対応能力試験の解釈	33
中国: CQC: 手持式電動工具製品認証に関する新しい規格および認証規則の施行に関する通知	34
中国: CQC: 風力発電機用風力タービンブレードの認証実施規則の更新に関する通知	35
中国: 新規格リスト	35
台湾: BSMI: 「検査対象の一般家庭用電気商品の関連検査規定」を改正し、本日施行	36
台湾: 新規格リスト	36
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準一部改正 (案) 行政予告: 国際標準への適合	37
韓国: 放送通信機資材等の適合性評価に関する告示一部改正 (案) 行政予告: 再輸出目的機材等	37
韓国: 「電気用品及び生活用品安全管理運用要領」及び「電気用品安全基準」制・改正	38
韓国: 安全性検査制度の導入に従い、「安全認証機関等指定及び審査ガイド」に名称を改正	39
韓国: 「測定結果の不確かさ推定及び表現のための指針」など 19 種の指針等行政予告	39
韓国: KS 新規格リスト	40
総務省: 電波監理審議会 (第 1119 回) 会議資料: 諮問: デジタルコードレス電話の高度化	41
総務省: 電波監理審議会 (第 1121 回) 会議資料: 諮問: 衛星非常用位置指示無線標識等	42
総務省: デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ (第 2 次)	43
経済産業省: 電気用品の試買テストの結果報告を更新しました	43
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2023 年 10 月分)	44
経済産業省: 無人航空機の衝突回避に関する国際規格が発行 (ISO21384-3)	44
国土交通省: 規制を一元化し、燃料電池自動車等に関する負担を軽減	45
国土交通省: 建築物の省エネ性能表示制度のガイドライン等を公表しました!	46
ちょっといっぷく~小クイズコーナー オーストラリア等の電気機器規制への適合マーキング	12
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	23
社長の独り言	47



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 電磁適合性 (EMC) - 伝導妨害イミュニティ

- IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) - パート 4-6: 試験および測定技術 - 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に規格の概要も含め、解説する。
- 本第 5 版は、2013 年に発行された第 4 版を廃止し、置き換える。本版は技術的な改訂版である。本版は、以前の版に対して次の重要な技術的変更が含まれている。
 - a) 注入デバイスの選択を修正;
 - b) クランプ注入の AE インピーダンス チェックの必要性が削除され、付録 H が削除された;
 - c) 飽和チェックが改訂された;
 - d) 複数の信号を使用した試験に関する新しい付属文書 H を追加;
 - e) 試験信号発生器の設定方法の変更。

UNECE: (GRSG) - 国連規制 No. 161 (不正使用に対するデバイス) に対する補足 4 の提案

- ECE/TRANS/WP.29/2023/103 により国連規制第 161 号 (不正使用に対するデバイス) のオリジナル版に対する補足 4 の提案が、又、ECE/TRANS/WP.29/2023/104 により、国連規制第 162 号 (イモビライザー) のオリジナル版に対する補足 5 の提案が提出されている。
- 放射性エミッション試験は、国連規制第 10 号 06 シリーズの修正規定の技術規定および経過規定に従って実施する等が規定。

USA: FCC: KDB: Part 15 または Part 18 に基づくワイヤレス電力伝送デバイスの機器認可

- パート 15 またはパート 18 に基づくワイヤレス電力伝送デバイスの機器認可についてのガイダンスのうち、680106 D01 RF Exposure Wireless Charging Apps v03 が改訂されて v04 となった。多くの編集上の変更、試験の適合性についてのガイダンス、1 m 超えの距離に置かれた(at a distance)WPT に関する規定が追加された。

USA: FCC: 6 GHz 帯での超低出力デバイスの運用を許可

- 2023 年 10 月 19 日 - 米国連邦通信委員会(FCC)は、本日、6 GHz 帯を、新たなクラス「超低出力デバイス」に開放した、その結果、この超低出力デバイスは、他の Wi-Fi 対応デバイスとともにこの帯域で運用することが出来る。
- この規則は、最先端アプリケーションのエコシステムを促進するだろう。そのエコシステムには、(a)企業を支援し、(b)学習の機会を強化し、(c)健康管理の機会を促進し、そして、(d)新たなエンターテインメント体験をもたらすウェアラブル技術及び拡張現実/仮想現実が含まれることになる。

EU: 欧州委員会、安全でない玩具からの子供の保護を強化

- 欧州委員会は、玩具の潜在的なリスクから子供を保護するため、現在の規制を改訂する玩具安全規制を提案した。有害化学物質からの保護の強化と、取り締まりの強化を目的としている。

総務省: 電波監理審議会 (第 1119 回) 会議資料: 諮問: デジタルコードレス電話の高度化

- 諮問事項が決定された :
 - 電波法施行規則及び無線設備規則の一部を改正する省令案 (時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の高度化等に係る制度整備) (諮問第 22 号)
 - 無線設備規則の一部を改正する省令案 (2.4 GHz 帯小電力データ通信システムの技術基準の見直し) (諮問第 24 号)

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) – 伝導妨害イミュニティ (1/3)



Summary

IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) – パート 4-6: 試験および測定技術 – 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に、規格の概要も含め、解説する。

6.2 結合および減結合デバイス

6.2.1 一般

試験の再現性と AE の保護の理由から、好ましい結合および減結合デバイスは、CDN であると規定。但し、CDN 以外の他の注入方法が使用できる場合の例示として、「CDN の減衰が EUT の意図的な動作に悪影響を与える場合」が追加された。

6.2.2 結合および減結合回路網 (CDN)

これらの回路網は、1 つのボックス内の結合回路と減結合回路から構成される。CDN の選択に関するガイダンスが整理され、提示された。

6.4 試験信号発生器の設定

試験信号レベル設定には従来 2 つの手順が使用出来るとしていたが、前者の方法(アンプの出力電力の測定)のみで行うことに変更。又、従来の設定方法手順は相当変更され、新たに「試験所は、増幅器が飽和していないことを確認すること。今回新たに規定された方法で実証する必要があること」と明記された。

7 試験のセットアップと注入方法

7.3 複数のユニットからなる EUT

この場合、推薦方式と代替方式で試験ができる。推薦方式では、各サブユニットを一つの EUT として扱い別々に試験する。

7.6 クランプ注入の適用

本項は全テキストが新設された。クランプ注入により妨害信号を注入する場合の手順を規定する。

8 試験手順

周波数が段階的に掃引される場合、ステップ サイズは前の周波数値の 1 % を超えてはならない。これに加えて今回、「潜在的に敏感な周波数を試験する必要がある」が加わった。又、試験時間を短縮するために、単一の滞留時間中に複数の周波数を同時に適用すること (複数信号により試験) が許容され、その手順が規定された。付属文書 H に詳細有。

9 試験結果の評価

新規格では、**推奨される分類を**、規格制作に係わる委員会によって、性能基準 performance criteria を策定する際のガイドとして使用するとした。試験結果は製造業者の仕様書などの随伴文書から導き出される性能レベルと比較して、EUT の機能損失または性能低下の観点から分類される。

10 試験報告書

「試験レポートに含めるべきものとして、EUT 機器のソフトウェアの同定、試験機器のソフトウェアの同定、随伴文書によって指定された性能レベル等が追加された。

1/3

IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) – パート 4-6: 試験および測定技術 – 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に、規格の概要も含め、解説する。

(以下解説文で、ローマン体 (立体) は規格本体のテキストそのものであり、斜体は編集人によるテキストである)

本第 5 版は、2013 年に発行された第 4 版を廃止し、置き換える。本版は技術的な改訂版である。本版は、以前の版に対して次の重要な技術的変更が含まれている。



株式会社コスモス・コーポレイション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

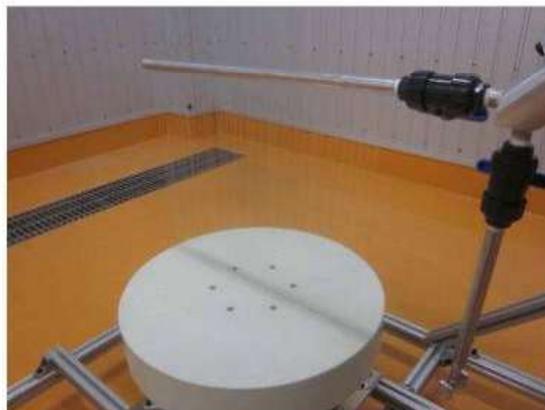
評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレイション

社長の独り言

2023年10月17日

濱口 慶一

残暑の厳しかった9月が過ぎ、ようやく秋めいてきました。季節の変わり目は体調を崩される方が多くなりますが、自己管理を徹底して乗り切りたいと思います。読者の皆様もご自愛ください。

コスモスは、お客様のおかげで37年間の間に大きく成長することができました。1987年の弊社創立時のいろいろな考え方や運用や、お客様へのご恩を忘れずに、当時の会社の雰囲気に戻し、お客様にここまで成長させていただいたお礼ができる企業として、また、第三者検査機構としてレベルアップしていけるよう、社長以下全社員が一丸となってより一層チャレンジしていく所存です。いずれは事業を継承しなければならず、課題の一つとなっていますが、前述の内容を踏まえ、コスモスの事業を継承する人は次のような人であってほしいと思います。

1. 顧客第一主義に徹することができる人。
2. 幅広い安全に関わる知識を修得し、社員や国民へのより安心・安全に良い結果が出せる、技術者としての倫理観を持った人。

最近、いろいろな協会に参加し、監督省庁の監督する協会や国から、電気用品安全法改正の説明がありました。要は、古い基準をすべてIEC規格ベースに置き換えていきますのでご用意下さいとのこと。企業の方はできる限り早く、設計・開発される製品の基本要件製品規格を古い規格ではなく、IEC規格で判断できるように切り替えていって下さい。古い規格や基準の適用を続ければ、今後製品が市場に出荷され、不幸にも安全上の問題が生じて訴訟になった時に、企業の“開発の抗弁”が認められにくくなると思います。可能な限り早くIEC規格に移行するのが最良でしょう。

私が長岡技術科学大学大学院工学研究科修士課程のシステム安全工学専攻で学んだ内容を少し紹介したいと思います。システム安全、労働安全マネジメント、安全認証・安全診断、リスクアセスメント、リスクマネジメント、産業システム安全設計、安全システム構築、機能安全の基礎、国際規格と安全技術、電気安全設計、火災爆発、ロボット工学、事故情報分析、情報セキュリティ、経営工学、企業コンプライアンスなどに関する内容でした。講義を受けながら、一般社団法人日本要員認証協会の講習を受け、規格開発エキスパート補に登録されました。教授の方に、最終試験で国内認証制度への私論をぶつけてしまい、厳しいご指導を受けたのも、今ではいい思い出となっています。

最後に養蜂について少し。我が家の日本蜜蜂は、2群が元気で夏を無事に乗り切りました。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2023-11-01 (No. 158)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2023 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。